

ナナイモ校地にて、農学部 生物環境システム学科4年生にインタビューを行いました

【インタビュー内容】

● 2年生のカナダ研修プログラムを受けてみてどうでしたか？

ホームステイ

中学3年間タイに滞在していたため、海外への抵抗はなく、英語は元々好きでしたのですぐに馴染むことができました。ホストファミリーとも話していくうちに言葉が通じるようになり、私以外にもう1名ホームステイの女子学生がおり、マザー含む3人でガールズトークを毎日楽しんでおりました。食事面に関しては、嫌いな物を残すのは失礼だと思っていたので、嫌いであった生セロリも今では克服できるようになりました！現在も卒業論文を書くためにカナダに来て、2年生のカナダ研修でお世話になったホストファミリーのお家で日々を過ごしております。(9/18時点)

このカナダ研修のホームステイは到着してから、まずナナイモ校地でオリエンテーションを受けホームステイの準備をし、ホームステイ先も学生1人1人に合ったところを探してくれるため、安心して過ごすことができるのは、とても魅力的だと思いました。



VIUでの授業

ESLは英語が母国語ではない他大学の学生と一緒に授業を受けるため、色々な国の人たちと交流することができます。特に感じたのは発音の違い。日本や韓国の方はLとRの発音が難しい／アラブの方はingの発音が難しいなど、国によって発音が違うため、非常に勉強になりました。また話すことが主体の授業のため、それぞれの国で発音が難しいとされる単語も何回も繰り返し話せるようになろうと意欲的な他の学生を見て、恥ずかしがらずに積極的に話すことが大事であるということ気付かされました。そういった経験から、すぐに日常会話にも慣れることができました。

※ESL… English as a Second Language の略

● ブリティッシュコロンビア州ナナイモ市の魅力について

日本ではバイト生活ばかりで、とても忙しい日々を過ごしているが、ナナイモに来ると忙しい自分を忘れ、のんびり過ごすことができます。

(ナナイモの人々は、自分の時間を有意義に過ごされているイメージがある＝時の流れがゆっくりに感じる)

またバンクーバーだと街中を歩いている日本人がたくさんいるため、英語を頑張っても使わなくても日本語で生活ができる環境にあります。旅行で行くなら非常に良い場所だと思いますが、英語を学ぶという視点で考えた場合には、ナナイモのように日本人が少ないという環境の中で、英語で相手に物事を伝えなければいけないので、英語を学ぶには最適な環境だと思います。

● ナナイモ校地の環境・スタッフについて

日本人スタッフがいてくれるおかげで、何でも気軽に相談ができ安心できます。とても雰囲気良く、ナナイモ校地にいるとホッとします。カナダ研修が終わった今、よりスタッフと仲良くなれて、現在もナナイモ校地でお世話になっております。(9/18時点)



スタッフの路子さんと

※校地内で育てているイチジクを収穫中

● **卒業論文について**

タイトル：カナダ・バンクーバー島の森林内で枯死木の生態系における役割や機能
(9/18 時点)

● **なぜ、卒業論文を書くためにナナイモを利用したいと思ったのですか？**

VIUでの授業を通して、枯れた木の取り扱いが日本とカナダで大きく異なる点に着目をしたことがきっかけでした。日本の場合、基本的に枯れている木は有害なので撤去をする方法をとっていますが、カナダは枯れている木を撤去せずに、そのままの状態を維持しています。そこで枯れている木が、日本では有害と言われていますが、なぜ撤去をせずにそのままの状態で置かれているのか気になり、カナダで現地調査をしながら取り組んでおります。また、日本より木が大きい点もカナダで卒業論文を書こうと思った理由です。

※ナナイモ校地に 8/8～9/28 まで滞在。(52 日間)



※研究調査中



● 将来の夢は？

無事に就職活動も終え、航空会社のスタッフに決定しました。今まで自分が研究してきた分野とはまったく異なる就職先でもあります。働くことと大学で学んできたことは全然別のものと捉えておりました。そのため、人と接することが好き／英語が好きという点を活かし、今の就職先に決めました。カナダで研修を受け、英語を使った仕事をしてみたいと思ったこともきっかけの1つです。

● 最後に一言

夏休み中、ナナイモ校地で研究を続けてきた成果をしっかりと論文にまとめ、完成させていきます！



※研究指導の南先生との写真（ナナイモ校地内にて）